

危険物仮貯蔵（仮取扱）承認申請書

○年 ○月 ○日			
川西市消防長様			
申請者 住所 ○○市 町○丁目○番○号 電話 000-0000-0000 氏名 ○○工場株式会社 代表取締役社長 消防 太郎			
危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	○○市 町○丁目○番○号 電話 000-0000-0000	
	氏名	○○工場株式会社 代表取締役社長 消防 太郎	
仮貯蔵・仮取扱の場所	所在地	○○市○町○丁目○番○号	
	名称	○○工場株式会社 空地	
危険物の類、品名及び最大数量	第4類第1石油類（ガソリン） 1,000リットル	指定数量の倍数	5倍
仮貯蔵・仮取扱の方法	200リットルの金属製容器（ドラム缶）を貯蔵し、手動ポンプを用いてドラム缶から金属製携行缶への詰め替えを行う。安全対策は別紙のとおり。		
仮貯蔵・仮取扱の期間	○年○月○日から ○年○月○日まで 10日間		
管理の状況	敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。作業前後に点検を行い、その結果を記録する。 第5種消火設備（10型粉末消火器） ○本設置する。		
防火の責任者	住所	○○市 町○丁目○番○号 緊急連絡先000-000-000	
	氏名	消防 次郎	
仮貯蔵・仮取扱の理由及び期間経過後の処理	被災地における燃料不足により、災害復興支援車両等への燃料補給を行うため。注入完了後、流出等ないことを確認し完了する。		
その他必要事項	金属製携行缶による給油は、この場所で行わない。		
受付欄	経過欄	手数料欄	

- 備考 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
2 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
3 印の欄は、記入しないこと。

仮貯蔵等承認申請について

指定数量以上の危険物を危険物施設（許可施設）以外の場所で貯蔵し、又は取り扱う場合は、川西市消防長の承認を事前に受ける必要があります。なお、消防法第10条第1項ただし書きに定められている「10日以内」に限り認められます。

また、同一の場所において繰り返し継続的な仮貯蔵等を承認することは、原則認められません。

申請書は、消防本部予防課に2部（正・副）の提出となり、申請書1件につき、5,400円の手数料（現金）が必要です。（お釣りが無いようご協力をお願いします。）

記入要領

	申請日（申請提出日）を記入する。
	「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名、事務所の所在地及び電話番号を記入する。
	「危険物の所有者・管理者又は占有者」欄は、仮貯蔵又は仮取扱い（以下「仮貯蔵等」という。）を行う危険物の所有者、管理者又は占有者について記入する。
	「仮貯蔵・仮取扱いの場所」欄は、仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入する。
	「危険物の類、品名、数量」欄は、類、品名、仮貯蔵等をする最大数量及び指定数量の倍数を記入する。
	「仮貯蔵・仮取扱いの方法」欄は、仮貯蔵等の方法及び静電気対策や流出防止措置等の安全対策を具体的に記入する。
	「仮貯蔵・仮取扱いの期間」欄は、期間が10日以内になるよう年月日及び期間を記入する。
	「管理の状況」欄は、標識等の掲示、バリケードの設置、消火設備や警報設備の設置等、危険物の管理方法や監視・消火体制を具体的に記入する。
	「防火の責任者」欄は、現場管理責任者の住所、氏名及び緊急連絡先を記入する。 なお、危険物取扱者が作業に従事する場合は、危険物取扱者免状の写しや氏名及び資格の種類等を記載した書類を添付する。
	「仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理」欄は、仮貯蔵等を行う理由及び期間経過後の処理の方法を記入する。
	「その他必要事項」欄は、必要に応じて記入する。

各欄の記入事項を別紙にして添付することもできます。